常磐毎日新聞

日刊

四月二日　夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢
廣告料普通一行五拾錢　場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京　四〇二一〇番

天氣豫報
今晩は北の風晴
明日は北西の風晴後曇

深更・驛前の高樓から もれるうめき
鋏で舌を搔つ斬り
▽……心中を圖る（未遂）

平町驛前住吉屋支店に去月三十日午後六時頃東京市日本橋區箱崎町三丁目三二洋品商戸ヶ崎政一（三五）妻靜江（二一）と稱して投宿した男女客が一日午後十二時頃同家三階の部屋で裁縫用鋏を以つて兩名共舌をかつきり心中を圖り鮮けに染まつて苦悶し居るを二日午前四時頃に至つて同旅館女中太田ナカさんが發見早速附近の賀川醫院に擔ぎ込み治療中、男は二センチ女は三センチ斬つてゐたが手當が早く生命は取止める模樣である

病弱な女に同情 共に天國行決意
男は內鄉生れの澁谷君

別項、心中未遂の男女は平署で取調の結果投宿名は全くの僞名で東京市淺草區田島町毛布商大津林之助方店員內鄉村高坂字御殿坑夫幸三郎三男澁谷三郎（二三）並に埼玉縣北葛飾郡幸手町字天神前新妻タケ子（二二）の兩名で數年前タケが埼玉縣北埼玉郡加須町カフエーニイシヤ方で女給稼業中知り合ひ夫婦約束を契つたが最近女が兎角心臟病で健康が秀れずそれに家庭貧困と實母のないところから世をはかなみ自殺の意を洩らしたのに男が同情、天國行を決したもので

卅一日夜平町てオキシフール四本を買ひ求め夫々二本づゝ嚥下したが死に切れぬため旅館から爪を斬ると裁縫用鋏を借り男が女の舌を切つて更に自分の舌をかつきり自殺せんとしたが苦痛に絶えかね男が救ひを求める聲に發見されたものである、尙女は三センチ（約一寸）斬つて居るため意識はあるが話しが出來ず筆談で取調べられた

炭代は浮んでも 郵便値上で駄目
花の季節に展く選擧風景
候補者負擔損益計算

あわたゞしく、そして殺風景な選擧の氣分と賑やかにして陽氣なお花見氣分が一緒になつて春四月の街道にデビューするがさて來るべき總選擧を主題として取沙汰されてゐる噂から〃選擧の損益勘定〃を拾つて見よう、從來の型を破つて陽春さくらの候に行はれる選擧とて棄權率はぐつと減少するであらうといふ見方は有權者の浮かれ心と春を結びつけた解釋で、氣候的に暖爐が不用になるから演說會場費や事務所費から少くとも木炭の購入費が省けるだらうし春の道とて交通費が輕減されるだらうといふのは氣候から來た候補者負擔金の純益計算であるが更に春は人の心を輕快にし明朗にするから暗雲を一掃し今度こそ肅正選擧の實をあげ得る機會だと說く向もあつてうれしい――だがこの半面に陽氣なお花見の宴にその筋の目が光つたり吸み交す酒盃に饗應の疑惑を持たれたりしては自然恒例の歡櫻會が沙汰止みとならざるを得ず早くも裁判所、刑務所吏員、辯護士、代書人連の所謂平法曹團の如きは『まあ今年はよそうと』一決、先鞭をつけるなど、まことにもつて今年の櫻は不運な花といふことになる

花に美妓はつきものであるがお茶屋筋ちもう選擧と聞いてがつかりしてゐる、こゝにまた候補者にとつては苦々しくも厄介な問題がある第三區は有權者數が代議士定員三名に對して石城四萬六千九十四、双葉一萬三千三百十二、相馬二萬七百四十九、合計八萬百五十五名であるが昨一日からの郵稅値上げで封書は一錢の値上りとなり勢ひ候補者は八百一圓五十五錢の負擔が從前よりも必然的に增加することになる。この負擔增加は當然候補者のポケットから支出されるので、これが〃損勘定〃として取上げられるたゞ要は氣候的に受ける前者の利益勘定と比較して差引どんな數字が現はれるかゞ問題で、兎角世の中はまゝならぬものではある

消防紛爭
玉川村陳情

玉川村消防組員は組頭高荻繁彌氏の不信任を議決して紛爭、組員百九十餘名が結束して自決を求める等猛烈な排斥運動を起こしてゐたが、この組頭不信任問題が原因して同村駐在金澤巡査が豐間村に轉勤させられることになつたので同村では宮內村長や消防組幹部十數名が昨一日午前中平署に出頭金澤巡査の留任方を陳情、同時に事件の眞相を陳情して歸村した

勿來校增築なる　勿來尋常高等小學校は工費一萬三千圓で增築工事を行つてゐたがこの程大休竣功、新學期から使用を開始、本格の竣功は本月中旬の見込である

山林愛護運動
各地の愛護團結成や 赤井嶽山頂記念植樹
▽……平營林署活動

今二日から三日間全國一齊に擧行の愛林デーに際し平營林署では齊藤署長以下係員總動員で一大森林愛護運動を開始各地に出張して講演會を開くなど愛林思想の普及徹底に努めてゐるが今二日の愛林デーをトし高久村に愛護團が結成された、尙三日は下仁井田愛護團の發會式があり四日の最終日には全職員で赤井嶽に上り欅二百本、山櫻三百本の記念植樹をなす

營林廳舍 改築成る

六間門の平營林署廳舍は一部改築のため二月二日以來古鍛冶町の舊廳舍に臨時事務所を設け執務中であつたが愈々新廳舍が出來上つたので來る五日に移轉することゝなつた

二日休みの 行樂コース
春の近郊旅行 此の邊り如何

四月はサラリーマンに惠まれて明三日の祭日に四日の日曜と二日休みが續く、季節は春四月、溫泉ハイキング、史蹟名勝ハイキング、或はまた太公望氣取つての釣等天候さへ順調なら月給の安い不平など消し飛んでしまふと請合、そのコースに次ぎの樣なところはいかゞ？

△その一――常磐海岸線中での風光明媚なところは往古白河の關とゝもに奧州への關門の一つで源義家が〃吹く風を勿來の關と思へども――〃とよんだ勿來の關趾です、その後八百年前後を經過した今日、なほ當時のよすがを多少しのぶことが出來る、更に勿來から常陸へ三キロ行くと岩礁の多いところで岩に碎ける白波の姿も美しい平潟海岸がある、一泊に適當なコース、平から常磐線磯原下車……

△その二――磐越西線の岩代熱海なども一泊コースとして適當だ、こゝには「岩代熱海溫泉」と高玉溫泉といふのが約一キロを距てゝ湧出してゐる、磐越西線は沿道の風光のすぐれてゐるので知られてゐるが、岩代熱海で溫泉のあるところは入口にあたり猪苗代湖からの疏水が流れてゐる、この場合郡山から磐越東線へ出て夏井川の景を賞するのも趣きがある

△その三――さらにコースを撰げて水郡線袋田方面へ向ふのも興があらう先づ水戸へ出て水郡線に乘換へる、袋田は近年開發された袋田溫泉がある それより約二キロ奧へ入ると〃袋田の瀧〃がある水郡線は久慈川に沿ふて走つてゐるがこの川の風光は眼を樂しませる、歸りは郡山を通じて平へ歸るといふ手、これも一泊コース

救護事務指導會　郡下に於ける救護事務指導會は十三日午前十時から平町會議室に開く

町村財改 臨時補給

臨時町村財政特別補給金は郡下に於て左記町村に配當された

渡邊村一、〇三八圓　山田村九九二圓　飯野村八五三圓　玉川村二、六一八圓　鹿島村一、〇一三圓　永戸村七八七圓　澤渡村九六七圓　平窪村八七八圓　下小川村九六〇圓

目前の慾に盲ひ 切角の制度泣く
債務調定裁判 一ヶ月僅か三件

これは大いに 利用するてすな

景氣好轉も掛聲ばかりか「貸した」「借りた」の金錢訴訟は相變らず多く平區裁判所に於ける三月中の支拂命令申立件數は金額僅か一圓五十錢から五千圓位のもの約二百件が殺到係官を面喰はせてゐるが現在は金錢債務調停の制度があり裁判所は關係者から申請があれば直ちにこれに應じ何時でも調停委員を擧げ裁判を開く事になつてゐるのに實際に利用するものが少なく同月中申請したものは僅か三件でこれは未だ一般にその趣旨が徹底しない爲めであらうと語つてゐた

即決で懲役一年
三縣下荒し破藏師服罪

既報、大風呂敷包みを背に草野村下神谷地內を徘徊中四倉署員に逮捕された福島、茨城、宮城三縣下土藏破り專門の怪盜栃木縣那須郡境村生れ目下住居不定無職前科一犯星賀事關根正美（二四）に係る竊盜事件の公判は今二日午前九時から平區で田中判事係り石合檢事立會の下に開廷檢事から懲役二年求刑されたが判事から即決懲役一ヶ年を言渡され直ちに服罪

招く花の平
見事な圖案成る
森善良君（白銀）入選
近く立看板を多數製作して 愈々本格の宣傳開始

平町で懸賞募集した松ヶ岡公園の宣傳立看板審査は應募總數五十四點に對して昨報の如く一日午後一時から町役場で町內三中等學校圖畫擔任教師が行つた結果平町白銀町一二森善良さんが見事に一等に入選賞金を獲得した尙佳作は左記諸氏であるが平町では愈々近くこれが立看坂の製作を依頼近づく櫻の花季を常磐線並に磐越東線その他の各驛に揭出觀櫻客誘致の大宣傳を行ふことになつた

（佳作）大町大庭美樹　南町齋藤惠二　磐中四年四組野木建男　中町古市英雄　搔槌小路渡邊安信　南町藤澤美夫　四町目長岡義通　長橋町鈴木百世　南町小林貞義　南町本間三郎

目白啼合會　平春玲會の第六回めじろ啼調會は來る五日正后から田町白土謠曲稽古所に開催される、入選後鳥には各賞品が授與される筈

電話 架設申込殺到
平局管內で 第一日定數突破

本年度平局電話特別架設申込は既報の如く昨一日から開始したが第一日丈けで既に十六口の申込あり締切り日の來る十三日までには更に殺到する見込である

清風幼稚園の 喜びの集ひ
同窓生の演技
第三校講堂に賑々しく

（既報）平町十五丁目清風幼稚園では明後四日が創立十周年に當るため同日午後一時から平第三小學校講堂に於て記念の同窓會及び同窓生演技大會を開催、左記プロクラムの演技が賑々しく展開される

開會の辭中村月城司會者金成會長、記念の歌園兒、軍艦旗（遊戲）石澤外六名、秋の七草（箏）阿部智子外、加茂（仕舞）志長賀子、鶴之段（同）齋藤カヨ子、雛祭（遊戲）宮川外七名、傘舞ひて（無踊）鈴木都お山の細道（同）チューリップ兵隊（同）齋藤外七名、天鼓（仕舞）谷口節子、八島（同）三井敬子、あの町この町花嫁お月さん（無斷）吉田外七名

躍進の平町
人口、世帶共に大激增

平市實現に備へて平町並に平窪村の現勢調査は既報の如く行はれた結果

⊠平町世帶數五千百五十一戸△人口男一四、六四四　女一四、三五九　計二九〇〇三人
⊠平窪村世帶數四九八　人口男一、六六九　女一、六二一　計三二九〇

總數人口に於て三萬二千九百二十三人、世帶數五千六百四十九戸の尨大な數字を示して大平市實現直前の實力を物語つてゐるが平町丈けでも昭和十一年十月現在の世帶數五、〇一五　人口男一三、五九五　女一三、七七六　計二七三七一人に比して世帶一三六人口に於て一、六三二人の力強い大激增振りを示してゐる

松本訓導
退職して歸鄉

今回の異動で家事上の都合に依り退職された平第一校訓導松本正治氏は今二日職員始め全校兒童その他各關係者に見送られ平發十時四十一分で鄉里の東白川郡石井村に歸へつた

平商 磐女 校友會 新役員

平商及び磐女の新學年度校友會員は今二日決定發表されたが各部長は左の如くである

△平商　總務服部　柔道武川　劍道廠原　野球宮澤　庭球室原　競技清水　弓道新田　辯論中村　圖書泉田　雜誌下山田　販賣玉手
△磐女　庭球鈴木光　籠球新妻　排球永島　競技蝦名　弓道土岐　圖書新妻　園藝金子　雜誌淡路　販賣日野

尙磐中は來る五日の始業式當日發表する筈

JOHK

明日の部

▼後六、〇〇　子供の時間「掛合童話花物語」梅田久雄
▼後六、二五　講演　我國の森林の資源に就て」山崎農相
▼後六、四五　講演「記念樹の植栽に就て」水口仙臺營林署長
▼後七、三〇　管絃樂　シヤルパンテイエの交響的組曲「ルイーズ」日響
▼後七、五五　落語「王子の幇間」桂文樂
▼後八、一〇　東をどり「十二色彩東姿繪」新橋藝妓連
▼後九、〇〇　時事解說「新稅法の施行について」松隈秀唯
▼後九、三〇　時報　ニユース　明日の話題　番組豫告

今晩の部

▼前七、〇一　春の小鳥　仙臺市外記町通り虎溪山莊中繼
▼前九、〇〇　朝のレコード音樂
▼後九、三〇　子供の時間　東京オーケストラ
▼前一〇、〇〇　記念講演「神武天皇の盛德大業」河野省三
▼前一〇、四〇　講演「野山に自生する木の實とその食用價値」岩田久敬
▼前一一、二〇　選拔中等野球　甲子園球場中繼
▼後〇、五〇　合唱　大日本聯合合唱團
▼後一、二〇　雅樂　宮內省樂部
▼後六、〇〇　子供の時間　お話「神武天皇さま」橫澤文賢他
▼後六、三〇　講演「支那の現狀と東亞の和平」須磨彌吉郎
▼後七、三〇　國民歌謠　阿部幸次
▼後七、四五　長唄「石橋」芳村伊四郎
▼後八、二〇　琵琶「羅生門」雨宮薰水
▼後八、四五　新講談　伊藤痴遊

俵米共販値 やゝ高値
前日より五錢均

昨一日行はれた石城販聯の定期俵米共販は出荷千四百八十二俵中不調米百十俵、最高十二圓三錢（高久）最底十一圓八十三錢、平均は前回より五錢高、尙高久から初出荷の大麥は俵當り五圓五十五錢で取引された

勿來町議 現在維持

勿來町では過般の町勢調査で人口萬を突破したゝめ町議定員十八名を六名增加して二十四名となる筈であつたが最近に至つて町內炭礦界の不振が原因して人口がとみに減少、一萬に滿たぬ有樣となつたのでこの程の町會で從來通り十八名に止めることを決議した因で郡下では小名濱町のみが增員する筈

お花見季の 賣店
抽籤で決る

平町松ヶ岡公園花季中の賣店は一日抽籤の結果左の如く決定、期日は十日から二十六日まで十七日間である

△一等地箕輪爲吉　田町三六佐藤正　鎌田町小野崎子之次郎　同荒木シケ　田町鈴木トラ
△二等地南町菊地ハナ
△三等地古鍛冶町馬上榮次郎　南町高橋はつ　新川町阿部文次郎

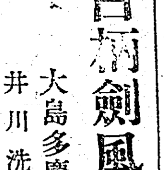
華道と茶の湯指南

池の坊生花
廣山流盛花投入
茶の湯（裏千家）

向旭亭　草野錦溪
（平町八幡小路高麗橋西側）

●稽古所……平町搔槌小路阿部政右衛門方離れ●

斯の道に御精進遊ばさるお方はお遊びがてらお出掛け願上げます……



白河劍風連

大島多慶夫作
井川洗涯畫
（第高）布施長春畫
村瀨泰談畫

（禁上映上演權保留）

……一一八……

この妻と子（二）

神田明神の[illegible]などは。まるで祭りの日のやうに、[illegible]さを[illegible]ける[illegible]々の[illegible]で賑やかであつた。

「[illegible]だ」

と、一塊になつてゐる[illegible]の[illegible]から、だしぬけに大きな[illegible]がひびいた。

[illegible]さにだれきつてゐる[illegible]々は何ごとか[illegible]い[illegible]をうけて[illegible]した[illegible]持になりたいのが[illegible]であつた。それつとばかりにバタバタと駈けてゆく。

「[illegible]人だ」

と、つゞいて[illegible]におびえた[illegible]がひゞいた。

「泥棒だ」

「[illegible]だ」

[illegible]の[illegible]と、さつぱり[illegible]りがないのであつた。

この[illegible]な[illegible]の[illegible]を[illegible]いた[illegible]はポンと[illegible]をうつた。

「[illegible]へたな」

と[illegible]ながら[illegible]いことを[illegible]したやうに[illegible]して、直ぐにこの[illegible]を[illegible]に[illegible]へた。

[illegible]によつて、[illegible]をかこむ[illegible]守成[illegible]と丹波守[illegible]の三[illegible]がはじまつて、こゝに、[illegible]丹波守はまた[illegible]から[illegible]されて、ふたゝび[illegible]となつて、北町奉行の[illegible]石見守を、[illegible]の[illegible]の[illegible]に[illegible]いた。

[illegible]力も、[illegible]も、[illegible]つ[illegible]も、[illegible]しい[illegible]にはどんなに[illegible]らつたか[illegible]れなかつた。

[illegible]した男[illegible]の[illegible]が[illegible]して又[illegible]えると、心の[illegible]を求めてゐた[illegible]は、たゞ[illegible]に[illegible]に[illegible]られて駈けてゆく。

[illegible]々と立並んだ太い杉の[illegible]の[illegible]しい下に、[illegible]ひ[illegible]れて[illegible]そべつてゐた[illegible]の[illegible]しくない[illegible]い侍。ハツとしたやうに[illegible]を[illegible]いて[illegible]つた。

「[illegible]。何ごとだ」

と、[illegible]つてゆく丁稚らしいのに[illegible]をかけたのは、[illegible]の[illegible]五左衛門であつた。

「この[illegible]はやり[illegible]した矢立[illegible]でございます」

「うん。さうか」

と、五左衛門は[illegible]さうに[illegible][illegible]であつた。

[illegible]に[illegible]の[illegible]に[illegible]つた[illegible]思[illegible]な[illegible]であつた。どことなく、[illegible]の[illegible]まる[illegible]りでは[illegible]二三人の、のが[illegible]の矢[illegible]をぬきとられる。そして、それが

五左衛門はまた[illegible]の[illegible]へ[illegible][illegible]んだ。そして、[illegible]りにこんなことを[illegible]いた。

「矢立[illegible]が[illegible]人の、おやつかまるのか」

まつたくまだ一人として[illegible]らへられたものはなかつた。ばかりではない。その盜人の[illegible]を[illegible]めた[illegible]のも[illegible]一人としてなかつた。

だから、無[illegible]の[illegible]の[illegible]から

「やつぱり[illegible]ばてれんの[illegible][illegible]だ」

と、[illegible]いふとなく[illegible]ひふらされたのであつた。

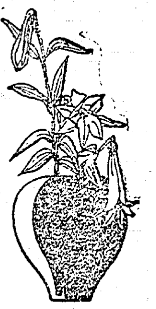
五左衛門は心[illegible]さ[illegible]に、[illegible]い[illegible]をかいてゐる。

すると、しづかにそこへ[illegible]つてきた[illegible]のやうな小[illegible]があつた。

「松平[illegible]」

と、四[illegible]にふかい[illegible]を[illegible]つてゆり[illegible]した。

家庭と婦人



朝の歌

上村好子

〝あさめよわが靈
朝日にともなひ〟

かういふ歌ひだしで始まる讃美歌がキリスト教の歌の中にある。

この歌の作者は英國人で、非常に朝を愛した人である。ビショップ（監督）といふ要職にもついた高僧だつたが、晩年は不遇で、さびしい片田舎で命を終つた。

二百年あまりの昔に生きてゐたこの宗教詩人の心意氣を私は愛してゐる。臨終の時の彼の遺言は「どうか私のひつぎは村のまづしい人たちにかついでもらつてくれ」といふのだつた。七十四歳の長命を保つた彼は朝ごとに自作のこの朝の歌を朗々と歌つて、一日の行路を始めた。彼は一生涯朝を愛しつゞけた。遺言によつて教會の東側の窓下に彼のなきがらは埋められ、葬儀の時刻は朝日の昇る時であつた。遺族や友人たちはなみだの眼で明けゆく日の光を仰ぎながら、聲を張りあげて、朝の光を合唱した。

朝日に向つての祈りの營みはどんなに嚴肅なものであつただらう。そして、流れるなみだをぬぐひ〳〵歌はれた朝の讃歌、それこそはまことに「悲壯美」の極致であつたらう。

私はこの不思議な光景を何度となく、私の心の銀幕に映じて見る。その上に出て來る文字は「たゝかれてもおさへつけられても、負けるな」といふのである。

家庭メモ

■アスピリン錠劑の呑み方　アスピリンは一種の刺戟劑で、もし錠劑のまゝ胃へはいつて胃壁へでもくつゝいてしまふとその部分に炎症を起し、胃を害する事がありますからもし錠劑の場合は細かくくだいてからのむのが安全です

職場にさく花
若さを生かせ
人生初年兵心得

職業婦人

はじめて就職なさつた婦人方はこれからの日々のつとめがどんな服裝やお化粧をして行くべきか、また上役の方や、異性同性の同僚の方たちにどんな言葉づかひ態度で接したがいゝか職業婦人として心得おくべき基準をお話しませう、言葉はつ態度は？就職さきの空氣で、いろいろちがふので一概にはいへませんが、ごく一般的な標準をいへば、毎日の出勤は職務に精勤するためで遊びに行くのではないので、お化粧をしないのが本當ですが、都會の内外で文明に接しなければならない職業上接する人に不快感を與へない程度のお化粧をするのは女性のたしなみです、そこで職業婦人として容姿に注意するといふ氣持、その程度でいゝとおもひます

それにはまづハツラツとした若さを生かすこと、習慣、食事、睡眠などを注意して誰にも健康そのものといつた感じをあたへることが大切です、濃化粧はともすれば酒場の感をおこさせるので、白粉はなるべくつけないこと、白粉なしで好感をもたれるには洗顔された姿をもつことで、丁寧に洗つて肌に合ふクリームで皮膚をやはらげ、ほんのり紅を用ひ、適當な色のパウダーでなでゝおく位にすること、お出かけ前には明るいところでちよつと鏡をみることは是非必要です、[illegible]などもつまつてゐる方が智的な感じがするのでウエーブもなるべく目だたないのがいゝとおもひます

和服の着物をめす場合には、第一に經濟の點に注意すること、あくどい色に派手な柄しらのあるものは感心しません、まづ無地のうす色が無難でせう、エリ、ソデ口のよごれたのは見苦しい習慣です、それには毎日ぬいだ時に綺麗などでふいておけば長くさつぱりしたものが着られます、上着のシワのついたのを着ないこと、立派な服はつとめてさけ、よごれに神經を遣ふ事が肝心です、言葉には上下同僚の差別なく話しかけられたら、ひかへ目に愛想よく、言葉すくなく要領よく話すべきですが、すましたり氣どつたりした物腰は不快感をあたへます、勤め先の習慣があるので、それに注意して社則、處世の點にそぐはない言葉使ひはさけて、人望のある人の態度などをよく研究し、それをとり入れることです

上役に對してあまり卑屈な態度をとるのはみにくいものです、一足飛びに上役にみとめられやうとあくせくしないこと、仕事には忠實に、熱心にいそしみ同僚をしのがうとする氣持をおこさせぬことですべて同僚間に評判のいゝ方は上役の氣受けもいゝものです

室内の惡臭のふせぎ方

これから夏にかけて屋内の不潔な空氣や人、赤兒などから發散する體臭、衣類のくさみなど非常な不快なおもひをすることがありますことに風通しのわるい陰氣な家や[illegible]をこのまぬ家は一種特有の惡臭があり、ねぎ、肉類などを煮たのちはしばらくその臭がこもつてゐるので、暑い時では朝夕二回は完全に二、三十分開放する事、日光の射しこむ間は戸障子をあけはなしておくやうにすること、さらに布團、衣類などは出來るだけ日光にさらして臭氣を發散するもの、たとへば澤あんづけ、ぬかづけ、のりの古くなつたやうなものは出來るだけおかぬやうにするか密閉にフタをしておく事です

家の中に臭氣を感じたならばコーヒー、紅茶、番茶などの一番だしがらを火にくべるのが、一番簡單な臭氣とりで同時に濕氣ものぞけます

御不淨の臭氣どめとして窓ベリへニンニクかナフタリン、せうのうなどを紙につゝんでおくなどは普通常識ですが片腦油の代りに石油を時々入れるのも經濟的な一法でミカンの皮や灰を入れるのも臭氣どめとして効果的です、さらに押入、戸棚などのゴムくさいにほひも不快なもの第一衣類や品物ににほひがついて困る場合もありますなほこの方法でボール箱の中へ木炭をあつめて入れ、隅の方へおくなどもいゝ考へです、できるだけ中のものを時々出して日光にあて戸をあけはなして風を入れる事はもちろんですが、にほひのするものはキチンと密閉するのが肝心です、せうのうやナフタリンは一般に使用されてゐますがさらに昇汞水をふりかけるとよい

お母さん心得帳
おやつのおねだり
さてどう──しませう

發育ざかりのお子さん方が、三度のお食事のほかにさかんに間食をおねだりになるのはまことに無理ならぬ事です、さうかといつてお子さん方のいふなりになつてゐたのでは、營養上からもよくありませんし、第一衛生上からみて非常に危險です

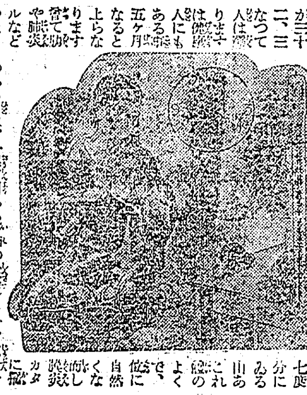
間食についてはお母さん方はすくなくとも次の事位はお心がけて下さい（一）あたへる時間をさだめておき、時間外には決して與へぬ事（二）消化の惡いもの、不消化なもの、刺戟性を持つものや有害色素を含むものは絶對にあたへてはなりません（三）なるべく自宅でつくつたものがよろしく止むを得ぬ時は信用ある店のものをおえらび下さい（四）くさりやすいものは避けませう（五）間食の前には必ず手や口をきれいに洗はせる事が肝要です

さて、子供に不適當とおもはれる菓子を例をあげてみると、餅菓子、シュークリーム、新粉細工、團子、揚げ煎餅、鹿の子しぐれ、アンパン、ようかん、あんころ、みつ豆、砂入ビスケツトその他包紙に鉛をふくむもの、内容が露出してゐても外からはわからぬやうな仕かけになつてゐる、のみ込み危險のあるもの、消化のわるいもの（豆類、せんべいなど）果物では、びわ、いちぢく、ぶどう、バナナさくらんぼなどです

菓子にもちひられる有害色素で赤色のはローダミン、黄色のはオーラミン、紫色のメチーレンブラウあるひはリウ酸鹽、褐色のはビスマルクブラウ、緑色のはゲンチアナビオレツトといひます

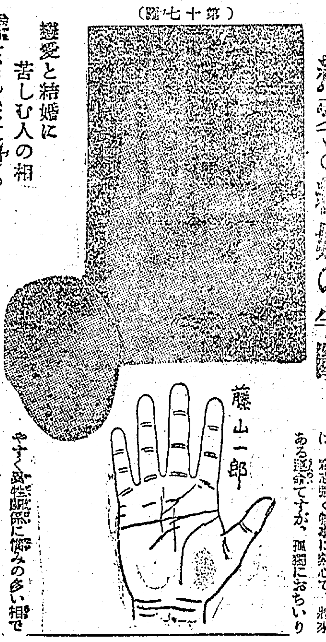
一般食物の中、子供にはなるべく避けたいのは、てんぷら、するめ、燻製、ぜんまい、枝豆、こんにやく、さやゑんどう、目刺、鹽漬け、たうもろこし、數の子、肉類、たけのこ、はぜつくだに、油揚げ、せり、ごぼうなどです

姙娠十ヶ條心得帖
妊娠熱に注意せよ



惡阻の徴候があらはれると同時に體温が二、三分乃至四、五分上ることがよくあります。從つて午後四時ごろ檢温すると體温が三十七度二、三分になつてゐる人は微熱[illegible]があります[illegible]五ヶ月[illegible]になると上らな[illegible]肋膜炎や腹膜炎カタルなど[illegible]つたことのある人は、一層信用ある醫師の診察を受け、充分その經過に注意し、病變があれば止むを得ぬから人工流産を受けて、病勢の惡化をふせぐ事が大切であります

（第十七圖）

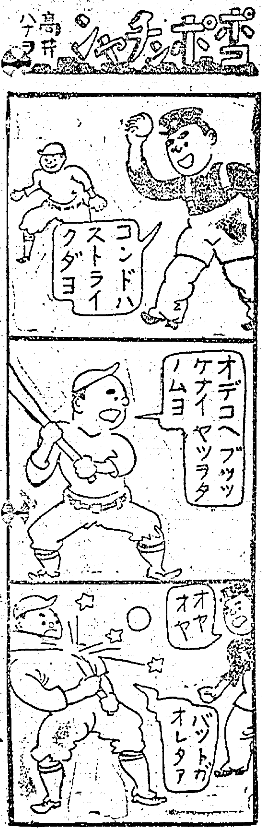


手相で判る
戀愛と結婚の判斷

戀愛と結婚に苦しむ人の相

藤山一郎さん（第十七圖）のも

感情線が切れてゐます。感情線と頭腦線が一直線につゞいてゐるのは、意志強く物事に熱心で、將來ある運命ですが、孤獨におちいりやすく異性關係に惱みの多い相であります。



高井ハナヲ
コンドハストライクダヨ
オデコヘブツケナイヤウニタノムヨ
オヤオヤ
バツトガオレタア

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）
村瀨春映（畫）

一一八

兵器の進化（三）

かれの意識に操られるのは、大統領でも、海軍當局でもなくて、やはりビコルと同じ穴の狢、ウオール街の巨頭連であつた。

アメリカ全艦隊の大演習。……ハワイを中心として太平洋一圓に繰りひろげられる、東洋への示威運動の前觸れは、大した景氣を生んだ。

そして、それが一日もはやく、太平洋戰爭を生むの動機となることをねがふのは、ウオール街の巨頭連だけではなく、アメリカ海軍自身でもあつた。つまり、ビコルの戰爭工作の的となるものは、結局アメリカ海軍であるわけだ。

アメリカ太平洋艦隊は、すでに大演習出動準備が成つて、太平洋艦隊のハワイ回航を待つてゐる。

ちようど、そのころ、ビコルは、れいの地下十三階の研究所でクーパー博士と對座してゐた。

その傍らには、老科學者のウルリツヒが、今日は試驗管を弄らずソファに埋れて何か默つてゐる。

彼等は私にわがアメリカを愛せよといつた。

しかし、アメリカはどこにあるか？

二つの太洋の間を彷徨しても國民は見えなかつた。

私は幾百萬千萬を見た。

そして彼等は憎みあつてゐた。

そして彼等はなぐりあつてゐた金を得るための戰爭で。

「おい、靜かにしたまへ」

ビコルは、ふりかへつて、ウルリツヒをたしなめた。しかし、老科學者は、なほも呟ひつゞける。

アメリカは一ではない、それは多數だ。

白人はニグロを生きたまゝ燒く

工場のボスは小兒を[illegible]

軍隊は抗夫を射ち殺す。

軍隊は織布工を射ち殺す。

それは敵同志の國だ。

「おい、やめてくれ、それは、マイケル・ゴウルドの詩だ、なぜあんな猶太の社會主義者の詩などをうたふのだ」

ビコルは、忌々しげにいふけれど、相かはらず老科學者はうたふ。

私は太陽がロツキイの山々の上を灑るのを見た。

私は、小麥畑が平原に靡くのを見た。

私は、數百哩のアメリカの花を見た。

そしてアメリカの鳥の歌を聞いた。

「止せといふのだ。おいドイツ生れの猶太人」

ビコルは、吠えるやうにいつた。老科學者は、それでもやめない。

アメリカよ、私は汝の命脈を探することは出來ぬ。

この怪物の心臟はフオードの自動車。

その頭腦は安つぽいボリウツトの映畫だ。

その所謂文化は毛皮と上衣の謎の壁下で出來てゐる。

その勞働者は、職業[illegible]のために死ぬ。

その犠牲者は餓死する。

誰がサツコとヴアンゼツチを殺したか。

汝ではない、おゝミシシツピ河

誰が世界の金を强奪したか

汝ではない、おゝアレガニイ山脈。

誰が利益のためにドイツ人を殺したか。

汝ではない、おゝアメリカの畠と森。

「うるさいな、止せ！」

ビコルは、卓上のコツプをつかんで床に叩きつけた。コツプはくだけて、星のやうに散つた。

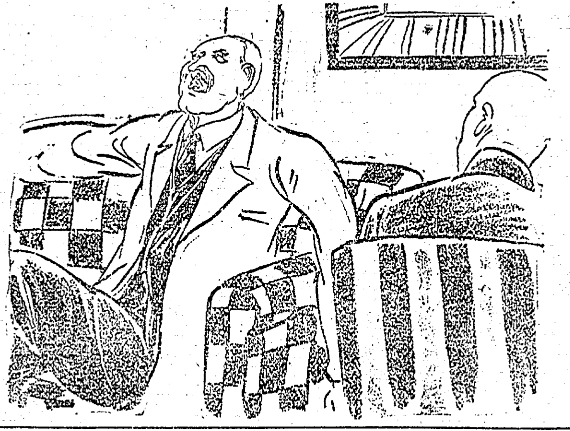
老科學者は、それに辟易して歌ふのをやめたのではない。ゴウルドの詩の文句を、それで暗誦したからだ。

だから、また、同じことをつゞける。

誰が利益のために、ドイツ人を殺したか。

ビコルは、もう老科學者の、たわ言に耳を藉してゐられなかつたので、クーパー博士を促した。

『別室へ往かう』



開院　平病院
平町警察署側（電六四一番）
院長　醫學博士　鈴木定藏
内科　院長　醫學博士　鈴木定藏
小兒科　部長　醫學博士　木下基一
一般外科・内臓外科　部長　醫學士　横山喜俊
一般婦人科・産婦人科　部長　醫學士　池谷宗三郎
皮膚泌尿器科・レントゲン科　部長　醫學博士　鈴木定藏
物理的療法科　技師　岡田重德
藥劑科　部長　藥劑師　吉本孝平
◎診療時間　毎日午前八時ヨリ午後九時迄（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）
往診　隨時
病室完備……入院隨時【自炊ノ便アリ】

祝入學
記念撮影大割引
晝夜間撮影
平町銀治町
宮田寫眞館
電話二四六（呼）番

北川外科
外科一般　レントゲン科
内臓外科　泌尿器科
（血液檢査毎日）
イツデモ入院出來マス
平町新川町二七（舊橋醫院跡）
醫學博士　北川芳夫
技師　小林良次
電話四六四番

定評有る大塚の
男女學生靴大賣出し
磐中　平商　磐女　指定……通學靴
自製堅牢優秀　金六圓から
小學生　通學靴　各種
つちや會社製品
月星　運動靴
耐久力他品の二倍
月星　ゴム長靴
店員募集　高等卒業十三四才より　四五名募集　待遇法面談
御用は　大塚
平・田町銀座通り　電話七十七番

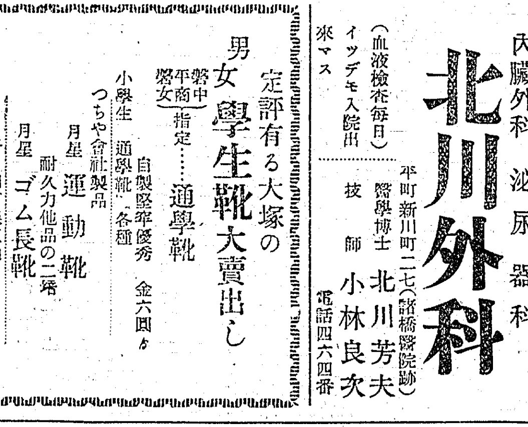
胃腸を害ね或は下痢をしたり或は三日も四日も便通がなくて頭痛を覺える御方はキ、メの早い靈効散を御試し下さい
胃腸病、心臓病、腦、痰、適應藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上ます
から御遠慮なく御來局下さい
平町古鍛冶町一〇縣社ノ下
胃腸藥　靈効散
處方發調劑所　阿康藥局
電話四四番　振替口座東京[illegible]番
定價（五十錢　八日分、壹圓　廿日分）
御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

專門
花柳病科
婦人科
産科
▼入院隨意
井坂醫院
平町田町　電話五五九番

御贈答に……
鰹節
新發賣　貝燒罐詰
美味　鰹鹽から
千やなぎ
志賀盛榮商店
平町四丁目（電話二一三番）

三井タクシー
平　二　電話五八六番

かまぼこ、
折詰仕出し
…お惣菜用・さつま揚・吉原揚…
天保寅
製造
平町一丁目　電話一一四番



Refinetex
リファインテックス
春の新裝洋服地は
斷然あなたを引立たせる新柄品柄絶對豊富のリファインテックスで
國華レインコート　リファインテックス特約店
大崎屋洋服店
平銀座　電96

齒科　口腔外科
レントゲン科
院長　東京齒科醫學士　原精一
電話三一一番　平町土橋通り
原齒科醫院

花柳病科　外科
木村外科醫院
平町六丁目橋際　電話三〇九

難波醫院
平町大町新川端　電話五〇二番

吉田眼科醫院
平紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

國旗と提灯

壁の塗り替へは！
カセイン
大谷建材店
平町紺屋町　電話三六六番

鈴木醫院
平町田町　電話五八番

◎小店員募集
給料　面談
平町四丁目
小野榮呉服店
電話五一五番

父常吉儀葬送の際は御多用中にも不拘遠路の處御會葬被成下且つ御鄭重なる御香奠を賜り御厚志の段難有奉深謝候一々拜趨御禮可申上の處乍略儀以紙上御禮申述度如斯御座候

昭和十二年四月　日

酒井忠二
親戚總代　馬上才二
箱崎孝